

第3期 中野区障害者自立支援協議会議事要録

部会名	自立支援協議会（全体会）	回	第11回
日時	2014年 1月16日（木）	13時30分	～ 15時30分
会場	中野区役所7階 第9会議室		
検討内容			
1	<p>会長あいさつ</p> <p>昨年、障害者権利条約が衆参両院で承認可決され、年明け早々には批准書がまとめられいよいよ批准されるだろう。障害各分野からは評価、歓迎されている。障害のある人の社会環境は、これまで差別と偏見の歴史であった。条約批准は障害のある人の人権問題としてようやくスタートラインに立ったと受け止めている。自立支援協議会でもしっかり受け止めて進めていきたい。</p> <p>自立支援協議会の現委員任期は3月31日で終了となるが、第3期中野区障害福祉計画の期中は26年度末まで続く。総合支援法では、自治体は障害福祉計画を定める際には自立支援協議会の意見を聞くことに努めなければならないとあり、その進捗の確認をする必要がある。そのため、区から進捗状況の報告を受け現委員に把握をしてもらい次期に繋げていきたい。</p>		
2	<p>第3期中野区障害福祉計画の進捗状況等について（区担当者より）</p> <p>「障害者福祉計画の概要」は平成23年2月に厚生労働省から発表された。「障害福祉計画」は、この指針に基づき都道府県、市町村が作成する。第3期の計画期間は平成24年度から26年度の3か年。平成24年3月に中野区が作成した「第3期中野区障害福祉計画」の進捗状況を説明。</p> <p>第4期中野区障害福祉計画は1年かけて策定する。平成26年2月頃、国から概要の提示が行われる予定。法及び国の指針を踏まえて計画に盛り込むべき課題、数値目標等の整理を行って計画を作成していく。</p> <p><意見交換概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期入所について、実績が計画通りに進んでいるように捉えられる形になっているが、精神障害者の短期入所については、実際に利用できる所は中野区にはない状態が続いている。次期の計画を作る段階において、数字の中身をきちんと押さえて計画を立てていただきたい。 ・就労移行支援事業について、2年間の利用期限があってその後B型に移行していると就労実績にならないことの影響と、実際の就労実績として、この事業を利用したことによってどのくらいの人々が就労に導かれたのか、というような数値が見たい。 ・相談支援はまだ新しい事業とはいえ計画に対して遅れているという印象。今後どうしていくのか課題になるのではないか。 ・第4期障害者福祉計画について、総合支援法の3年後の見直しと障害者基本計画の影響。また、障害者権利条約に係る制度の見直しの影響もあるだろう。従って福祉計画を定めていく際に制度上の環境によってどう変わっていくのか、中野区の実態を把握することがとても重要となってくる。数値目標を立てる際にも、3年後の見直しではなくて毎年の見直しが必要ではないか。 →区担当者より、各計画の進捗状況を細かい頻度で自立支援協議会に報告しながら進めていきたいと考えている。 ・就労実績は出るのか？ →区担当者より、障害者福祉事業団を通じて就労支援をしている。機会をみて報告したい。 		

3 相談支援機関会議報告 (区担当より報告)

(1) 第16回相談支援機関会議(11月28日開催)

事例総数は29件。取り上げられた課題について報告する。

- ① 東京都地域生活定着支援センター(矯正施設等退所者の地域定着支援)からの支援協力依頼があった。これまで中野での受け入れは0件。
- ② 高次脳機能障害で身体障害者手帳を有していない方は現行制度では自立訓練の機能訓練は利用できない。今後、高次脳機能障害の方の機能訓練をどうしていくのか考えていく必要がある。
- ③ せせらぎ利用者の高齢化について。50~60代の方が多くなってきている。地域移行支援事業や居住サポート事業を利用している方で今後介護保険への切替えが増えてくることが予想される。どのような形で切り替えを行うか課題になってくる。介護保険で同じサービスが受けられるのか、ケアマネージャーにどう引き継ぐのかも今後の課題である。

(2) 第17回相談支援機関会議(12月26日開催)

事例総数は31件。取り上げられた課題について報告する。

- ① 介護保険事業者、ケアマネージャーの障害特性に対する理解について疑問のあるケースがあった。そのためケアマネージャーに向けて障害の特性や障害福祉サービスの制度について情報提供を行う機会を作っていく必要がある。
- ② 地域移行支援事業の対象者拡大について。これまで精神障害者に限っていたが、平成26年4月以降は矯正施設を退所される方も対象になる。
- ③ ライフステージ移行時(児童期から成人期への支援の切替えの際など)に、支援の継続性を図るため移行時支援会議を組織的に開催していきたい。基幹相談支援センターを設置するにあたり、本年度数例モデルケースとして特別支援学校を卒業する方について移行時支援会議を実施していきたい。

<意見交換概要>

- ・ ライフステージ移行時の支援会議について。親御さんが急になくなったケースが年末にあり、障害のある方が2人で暮らしている。こういった変動があった時に会議を開くことができる仕組みになるとよい。

4 各部会報告 (各部会長より報告)

(1) 相談支援部会(11月20日開催)

相談支援部会・地域生活支援部会合同研修会「共に暮らすはじめの一步」の報告。

3回目の研修会。参加者62名。地域からは町会長、民生・児童委員、保護司、当事者又は家族、居宅系福祉サービス提供事業者の参加があった。昨日行われた部会において、合同研修会は今後も継続していきたい。そのための方法を明確にする必要がある。といった意見が出された。また、町会長さんから障害者とか障害というものに関心はあるが、なかなか当事者には声を掛けづらい。障害のある方からぜひ声を掛けてほしいという意見が出ていた。

(2) 地域生活支援部会

第15回(12月10日開催)の部会では、主に合同研修会の報告を行った。どういう形で継続していくのか課題である。

(様式1)

第14回(1月14日開催)の部会では、これまで調査してきた緊急一時保護の施設や事業について、利用者側とサービス提供側のアンケートを基に意見交換を行った。区内でのより良い緊急一時保護体制について話し合った。これを今後どう生かしていくか次年度に向けての課題。その中で、短期入所事業を利用した際に他のサービス(重度訪問介護や移動支援)と併用できるとよい、といった意見が出された。

<意見交換>

- ・ 合同研修会に参加して、多方面からの参加を得ることが地域の障害理解につながっていく。継続してほしい。

(3) 就労支援部会 (区担当より)

① 第11回(11月19日)の部会では、相談支援機関会議におけるケース事例の中から、主に触法系のケースについて意見交換を行った。触法の課題を抱えた方への支援について、各施設で取り組みはしているけれども手探り状態であり、関係機関で協力しながら対応する必要がある。特別支援学校でも触法系の課題を抱えている生徒が就職する際には、会社側にその経緯を伝え、情報共有しながら就労支援していく事が重要という意見もあった。

② チャレンジ雇用事業について、杉並区の事例を基に事業の内容を確認し意見交換を行った。中野区役所でも、身体障害者だけでなく知的障害者、精神障害者の雇用もしてほしい。杉並区と同様のワークチャレンジ事業を中野区でも実施してほしい。といった意見が出された。

③ 情報提供

弥生福祉作業所が平成26年4月1日より指定管理者制度に移行する。それに伴い、新たに就労移行支援事業、給食サービス、送迎サービスを始める。

5 事業者連絡会報告 (各連絡会担当委員より報告)

(1) 居宅系事業者連絡会報告

部会開催なし。11月15日にリスクマネジメントについてのクレーム対応研修会を実施した。2月13日に連絡会開催予定。内容は東京都の監査指導について等。

(2) 施設系事業者連絡会報告

1月8日部会開催。参加事業所の情報交換。北部すこやか・中部すこやか相談支援事業所から近況報告を行った。また、以下の点について区からの情報提供があった。

- ① 計画相談支援の進捗状況と中野区の今後の取組みについて
- ② 来年度4月から障害程度区分が障害支援区分に変わることについて
- ③ グループホームとケアホームの一元化について情報提供
- ④ 中野区の虐待の状況について情報提供
- ⑤ 都の地域移行促進コーディネート事業について(受託事業者、愛成会から説明)

東京都の事業で施設入所者を地域生活に移行させるための調査研究。

<意見交換概要>

- ・ 総合支援法に変わることによる制度の変更について、事業者向けには市区町村から説明が行われていると思うが、事業者から利用者へ、影響があるような事項について説明はされているのか?
 - サービス利用計画については複雑になる。利用者側からすると今までずっと使っていたものが何段階にもなるように感じる。
 - 程度区分から支援区分に変わるとは情報提供されていても、調査はどのような変わるのか

(様式1)

等心配されている利用者もいると思う。事業者が役割を果たしていかなければならないと思う。

6 第3期中野区自立支援協議会の活動報告書の作成について

スケジュールの確認。次回の全体会が3月19日(水)。2月中を目安に各部会のまとめをする。遅くとも3月第1週までに区担当に送付いただきたい。

まとめの様式、内容について区担当より説明。全体会の活動のまとめ、各部会等の活動のまとめ、計画に対する意見の3部構成とし、まとめの様式には障害福祉計画の進捗状況及び課題等についての意見及び引き継ぎ・申し送り事項等が追加となった。また、資料の第3期中野区自立支援協議会委員意見連絡票は各委員、個人として計画等についての意見、次回の引き継ぎ等を記載する。3月19日の全体会にて確認をする。

<意見交換>

- ・ 自立支援協議会全体として協議会の形をどうしていくかという意見も出した方がいいのでは。昨日の相談支援部会で、部会のテーマを検討することも必要なのではないかという意見が出た。
 - それは自立支援協議会全体会として各部会・連絡会等へ役割を示すという事と、各部会ごとに自立支援協議会の持っている役割を理解した上で、それぞれの部会でテーマを設定していくということか。
 - 例えば部会の名前を変える。相談支援部会と地域生活支援部会のテーマが似通っている。そういうのを一つにまとめて新たなテーマ、新たな部会を作っていくという事も考える余地があるのではないか。
 - 区担当より、第4期の協議会を立ち上げる際に全体会において部会の編成をどうしていくのか、又テーマをどう整理していくのか、確認する場面があるので、それまでに各部会、全体会で議論することができればよい。
 - 報告書の引き継ぎ事項等に記入して全体会に回るという進め方をしたい。
- ・ 資料の「個別ケア会議開催状況一覧」は会議中に目を通して終了後回収する資料だが、各委員に取扱いに注意してもらい渡すことはできないか。細かく見てみたい。
 - 事務局より、今回については回収させていただきたい。次回以降については意見を参考にどのような形にできるのか、何らかの対応はさせていただきたい。

7 その他

○中野特別支援学校より(星井委員)

平成25年度都立中野特別支援学校地域支援事業「特別支援教育(自立・社会参加)講演会」の案内。テーマは、学区内特別支援学級在籍保護者や支援者向けに、お子さんの将来の自立や社会参加について。2月7日(金)10時~11時。都立中野特別支援学校 会議室

○中野あいいく会より(上西委員)

講演会のご案内。2月19日(水)20時から、場所は杉の子城山の2階にて。テーマは、総合支援法的意思決定支援について(予定)

備考

次回日程

3月19日(水)13:30~ 中野区役所7階 第9会議室